

< 定点把握対象感染症発生状況(定点医療機関あたり患者数) >

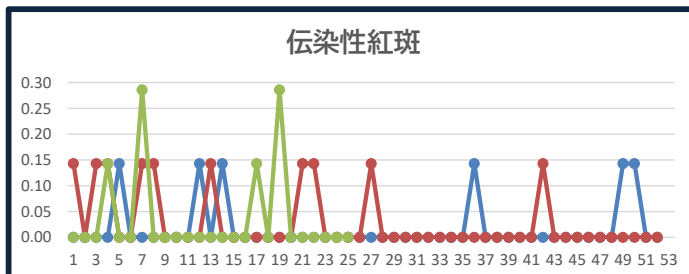
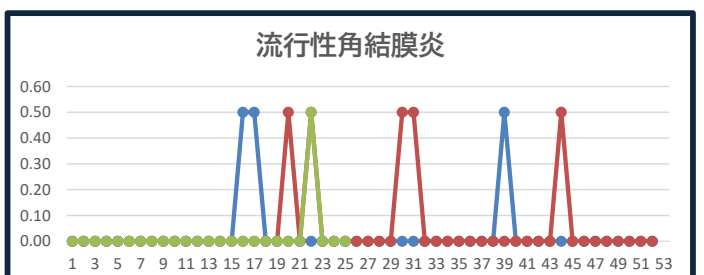
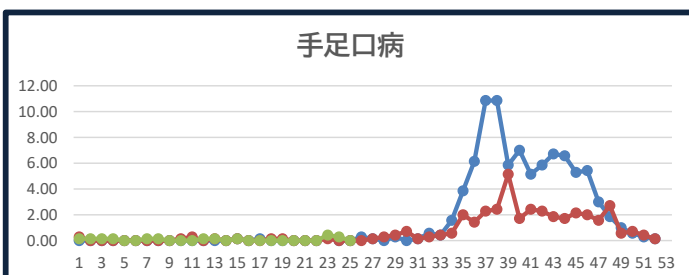
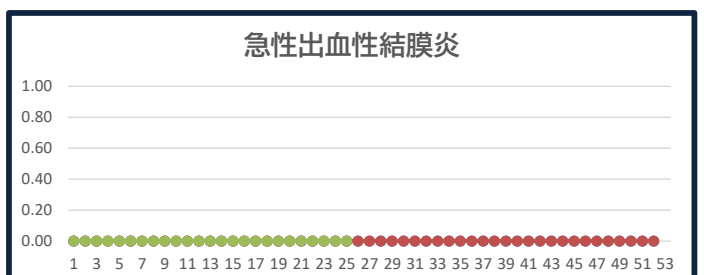
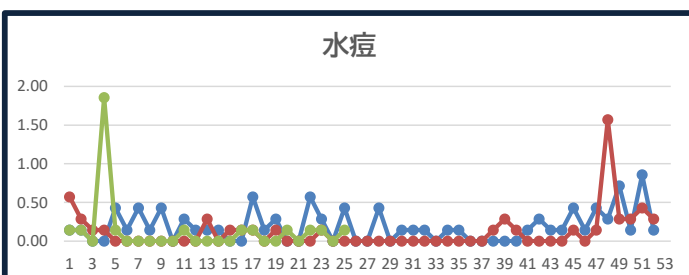
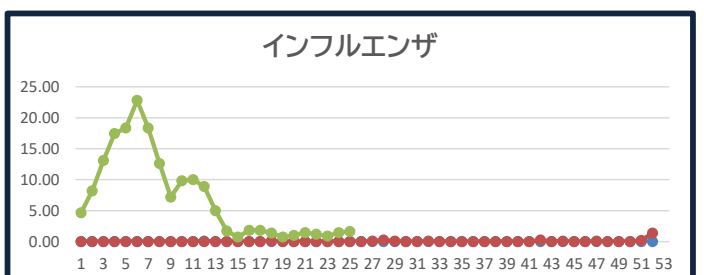
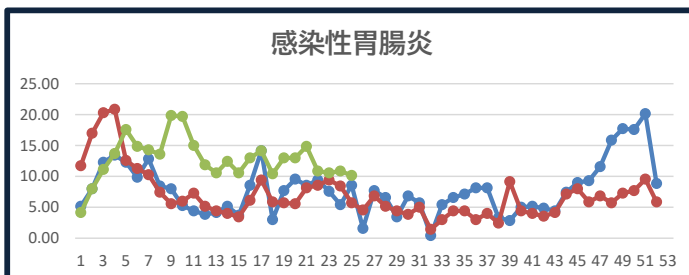
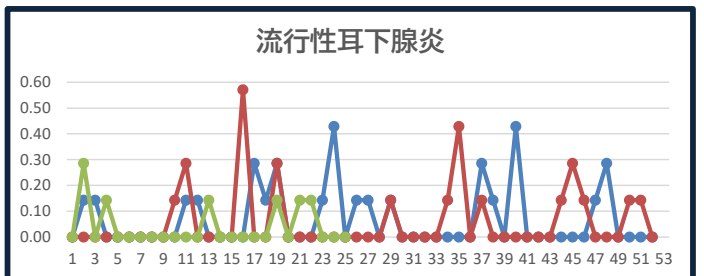
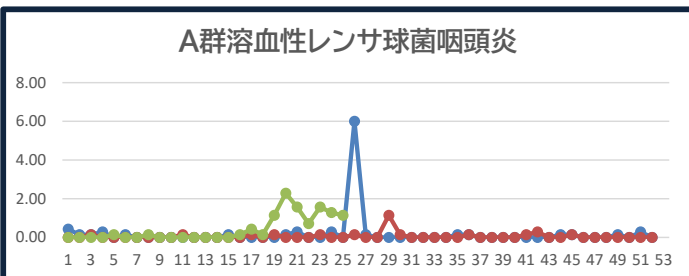
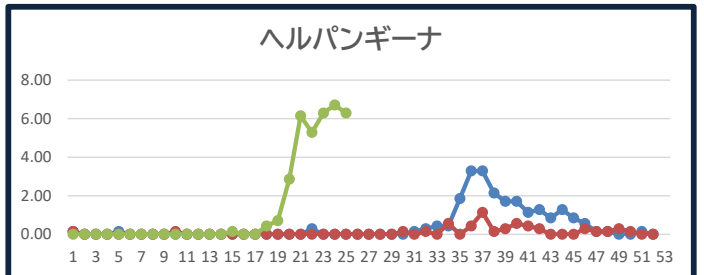
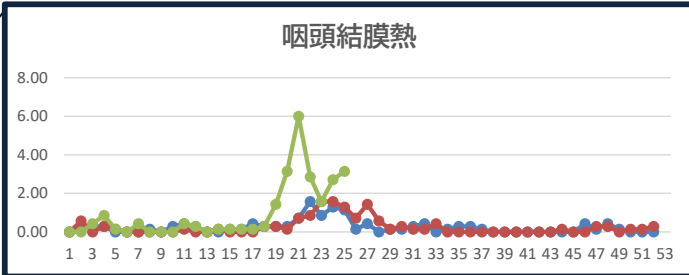
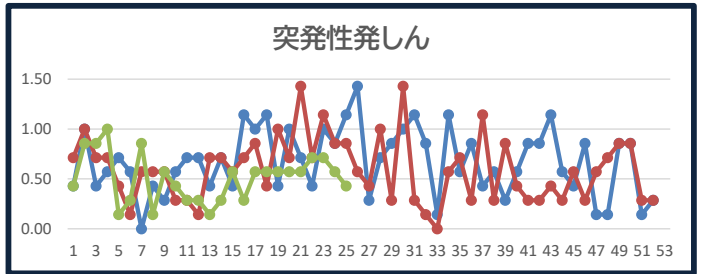
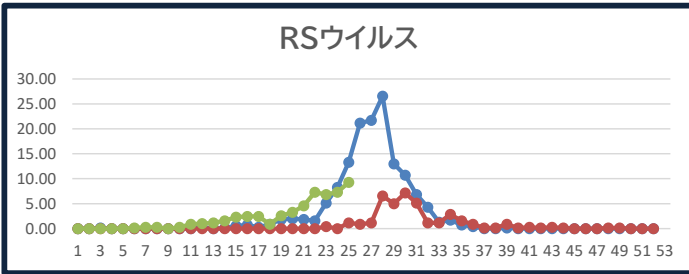
小児科定点(7医療機関)		2023年									
疾病名称 【警戒レベル基準】	16週	17週	18週	19週	20週	21週	22週	23週	24週	25週	
	4/17~	4/24~	5/1~	5/8~	5/15~	5/22~	5/29~	6/5~	6/12~	6/19~	
	RSウイルス感染症	2.43	2.43	0.86	2.57	3.29	4.57	7.29	6.86	7.29	9.29
咽頭結膜熱 【3.00~】	0.14	0.14	0.29	1.43	3.14	6.00	2.86	1.57	2.71	3.14	
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎 【8.00~】	0.14	0.43	0.14	1.14	2.29	1.57	0.71	1.57	1.29	1.14	
感染性胃腸炎 【20.00~】	13.00	14.14	10.43	13.00	13.00	14.86	10.86	10.57	10.86	10.14	
水痘 【2.00~】	0.14	0.14	0.00	0.00	0.14	0.00	0.14	0.14	0.00	0.14	
手足口病 【5.00~】	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.43	0.29	0.00	
伝染性紅斑 【2.00~】	0.00	0.14	0.00	0.29	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
突発性発しん	0.29	0.57	0.57	0.57	0.57	0.57	0.71	0.71	0.57	0.43	
ヘルパンギーナ 【6.00~】	0.00	0.00	0.43	0.71	2.86	6.14	5.29	6.29	6.71	6.29	
流行性耳下腺炎 【6.00~】	0.00	0.00	0.00	0.14	0.00	0.14	0.14	0.00	0.00	0.00	

インフルエンザ・新型コロナウイルス感染症定点(11医療機関)		2023年									
疾病名称 【警戒レベル基準】	16週	17週	18週	19週	20週	21週	22週	23週	24週	25週	
	4/17~	4/24~	5/1~	5/8~	5/15~	5/22~	5/29~	6/5~	6/12~	6/19~	
	インフルエンザ 【30.00~】	1.82	1.82	1.36	0.73	1.00	1.45	1.18	0.91	1.45	1.64
新型コロナウイルス感染症				0.82	1.18	0.91	1.82	2.73	2.55	2.36	

眼科定点(2医療機関)		2023年									
疾病名称 【警戒レベル基準】	16週	17週	18週	19週	20週	21週	22週	23週	24週	25週	
	4/17~	4/24~	5/1~	5/8~	5/15~	5/22~	5/29~	6/5~	6/12~	6/19~	
	急性出血性結膜炎 【1.00~】	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
流行性角結膜炎 【8.00~】	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.50	0.00	0.00	0.00	

< 全数把握対象感染症発生状況 >

感染症分類	疾病名称	2021年	2022年	2023年 (1~最新週)	2023年									
					16週	17週	18週	19週	20週	21週	22週	23週	24週	25週
					4/17~	4/24~	5/1~	5/8~	5/15~	5/22~	5/29~	6/5~	6/12~	6/19~
2類	結核	48	56	19	2	2	0	3	0	0	2	0	1	1
3類	腸管出血性大腸菌感染症	4	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	細菌性赤痢	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
4類	E型肝炎	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	デング熱	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	日本紅斑熱	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	レジオネラ症	8	5	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
5類	アメーバ赤痢	3	2	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	ウイルス性肝炎	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	侵襲性インフルエンザ菌感染症	1	1	2	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0
	侵襲性肺炎球菌感染症	3	1	3	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0
	水痘(入院例)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	梅毒	16	10	11	0	0	1	1	1	0	0	1	3	0
	カルバペネム耐性腸内細菌感染症	10	3	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	後天性免疫不全症候群	3	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	播種性クリプトコックス症	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	百日咳	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	麻しん	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	風しん	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
急性脳炎	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	



# 溶連菌(ようれんきん)感染症

溶連菌感染症とは「A群溶血性レンサ球菌」の感染によって起こる感染症です。まれに合併症として腎臓の病気や心臓の病気をおこします。また、**感染力が強く、保育園や学校で流行しやすい感染症**です。さらに**繰り返し感染し、大人でもかかるため、家族やきょうだいへの感染にも注意**しましょう。

## 症状

### 発熱



### のどの発赤



### 発疹(体と手足)



## 予防方法

### マスク・手洗い

マスクの着用や流水と石鹸による手洗いをしっかりしましょう。

### 共有しない

タオルや食器は共用しないようにしましょう。

## 治療方法


発熱やのどの痛みを和らげる薬の他、**抗生物質**が処方されます。症状がある場合は、早めに**医療機関を受診**しましょう。

＼備えよう／

# マダニが媒介する ウイルス感染症

ダニに  
噛まれない  
ことが重要!!

# SFTS



マダニが運ぶウイルス感染症SFTS  
(重症熱性血小板減少症候群)に**要注意**

その他ダニ媒介感染症

- ◆日本紅斑熱
- ◆つつが虫病

## ダニ対策

### ○ダニの生息する場所(草むらや藪)で活動する場合

- ① 長袖、長ズボン、足を覆う靴を着用し、肌の露出を少なくしましょう
- ② 服や靴の素材は白っぽい色で滑りやすい素材を選びましょう
- ③ 首にかけるタオルや脱いだ上着などは、バッグの中にしまうようにしましょう

### ○ダニの生息する場所(草むらや藪)で活動した後は

- ① 車や自宅に入る前に服をはたきましょう
- ② ダニに噛まれていないか確認してください

## ダニに噛まれたら

- 吸血中のマダニを無理に引き抜かないようにしましょう。  
無理に抜くと、皮膚内に残ってしまうことがありますので、病院(皮膚科)で処置を受けてください
- しばらくして(数日～2週間程度)、発熱・発疹・消化器症状(下痢など)の症状が出た場合は、早目に病院を受診しましょう